

京都府分権型行政推進本部 特命担当チーム等 検討成果報告書

チーム	「制度・政策改革チーム」 座長：計画課 課長 畑村博行
-----	--------------------------------

◆ 第3クール（20年6月～20年8月末）

課題	(チーム等設置時の課題を記入願います) 住民自治の確立という観点に立って、府民とともに生活者起点の分権改革を推進するために、 ① 地域で活動する自治組織、団体、NPO等から、様々な分野で現行制度・政策の問題点をあぶり出し、 ② 地域性の確保、住民自治の拡充の観点から、分権型社会における制度・政策の改革の方向性について検討する。
目標	(第3クールの目標を記入願います) ◆ 府内の分権改革を推進するためには、市町村との分権情報の共有、率直な意見・情報交換が必要なことから、水平的・双方向な情報共有・情報交換ツールとして「分権メールマガジン」の発行を提案 ◆ 庁内分権を推進するための方策を提案
第3クールアウトプット概要	◎ 「京都府分権メルマガ『縦横無尽』」を創刊。以後順次発行予定 送信先：・府内市町村の「第1次勧告に関する京都府・市町村権限移譲推進会議」担当窓口、市長会、町村会 ・府内「分権改革推進会議」本部員・幹事等、「第1次勧告に関する京都府・市町村権限移譲推進会議」各作業部会座長等 ◎ 「事業共同化・ワンストップサービス」の候補項目の抽出 住民起点の行政サービスを行うため、府・市町村等が行う行政サービスの中から、共同化・ワンストップ化の検討の余地がある候補項目を抽出。 <候補項目(案)> ◇ 広報関係事務(広報紙の配布など) ◇ 公営住宅の運営(申込窓口一本化など) ◇ 修学・進学等に対する支援制度()
第4クール以降の目標	○ 事業共同化・ワンストップサービス化について、新しい行政経営改革プラン等と調整・連携しつつ、具体的な提案を行う。

◆ 第4クール（20年9月～20年11月末）

目標	(一般府民が見てもわかるように、具体的にお願いします) ○ 抽出した事業共同化・ワンストップサービス化の候補事務について、フィージビリティスタディを実施。 (目標を達成するため、チーム員の構成を実務に精通した事業課等に一部変更予定)
期限	平成20年11月末
ロードマップ	(途中、節目があれば、記入してください) 20年9月 ・メンバー変更 ・検討項目について担当課等からヒアリング調査 ・その他資料、情報収集、分析・検討 10月～11月 ・事業共同化・ワンストップサービス化調査報告書作成
備考	